

株主通信

第117期

2017.4.1 ~ 2017.9.30

証券コード 7105

# Logisnext

三菱ロジスネクスト、誕生。

三菱ロジスネクスト株式会社



## 2017年10月1日、 ニチュ三菱フォークリフトとユニキャリアは、ひとつに。

ニチュ三菱フォークリフト株式会社とユニキャリア株式会社は、経営統合し「三菱ロジスネクスト株式会社」としてスタートいたしました。

「LOGISNEXT」は、“Logistical Equipment & System Solutions Next” を意味し、物流機器と物流システムの両面から最適な課題解決策をお客様に提供し続けられる会社でありたい・・・未来社会に貢献したい・・・という強い想いが込められています。

それぞれの強みを融合し、新しく生まれ変わった私たち「三菱ロジスネクスト」に、どうぞご期待下さい。

# 経営統合を機にさらなるシナジー創出と基盤強化を図り 「世界トップクラスの総合物流機器メーカー」を目指してまいります。

当社グループは2017年10月1日、ニチュ三菱フォークリフト(株)とユニキャリア(株)の経営統合により「三菱ロジスネクスト(株)」として新たなスタートを切りました。今後はそれぞれの強みを融合したシナジーを発揮し、お客様のニーズにお応えした、より高いレベルの物流ソリューションをご提供してまいります。



代表取締役社長  
御子神 隆

## 新会社発足のご挨拶

**株** 主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

かねてよりお伝えしていました通り、当社グループは2017年10月1日をもちまして、ユニキャリア株式会社(以下ユニキャリア)との経営統合を実施しました。これにともない、当社は社名を「三菱ロジスネクスト株式会社」と改め、同時に私、御子神が代表取締役社長に就任いたしました。今回の経営統合によって、当社グループは売上規模4,000億円を超え、従業員数10,600人、フォークリフト業界において世界第3位の企業となります。伝統ある4社<sup>※1</sup>を源流とする当社は、これまでの長い歴史の中でそれぞれが技術や販売網を独自に開発・開拓してきました。その「多様性」を強みに、

に、様々な側面で統合シナジーを発揮していくことで、世界各地のお客様のニーズにお応えした、より高いレベルの物流ソリューションをご提供してまいります。

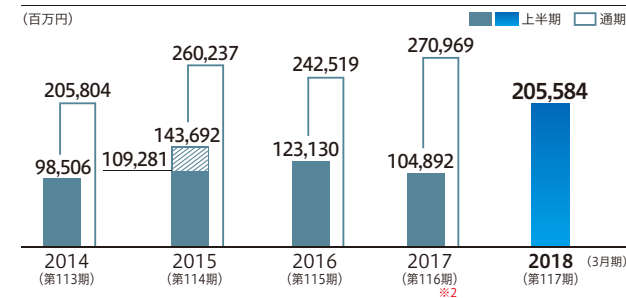
- ※1
- 日本輸送機株式会社
  - 三菱重工業株式会社 フォークリフト事業部門
  - 東洋運搬機製造株式会社
  - 日産フォークリフト株式会社

## 新会社の経営方針

**新** 会社「三菱ロジスネクスト」においても、2016年12月に発表した中期経営計画「Perfect Integration 2020」を継承し、引き続き数値目標「2020年度に売上高4,600億円・営業利益率7%(のれん償却前)」達成に向け、グループ一体となって推進してまいります。

- 1981年4月 三菱重工業(株)相模原製作所 入社
- 2007年4月 同社汎用機・特車事業本部 ターボ技術部 部長
- 2012年4月 同社汎用機・特車事業本部 副事業本部長
- 2013年4月 当社取締役  
三菱重工業(株)執行役員
- 2015年4月 三菱重工業(株)相模原製作所 社長
- 2016年4月 同社常務執行役員
- 2016年6月 三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス(株)取締役副社長
- 2017年6月 当社代表取締役 副社長執行役員 社長補佐
- 2017年10月 当社代表取締役社長 CEO(現任)  
三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス(株) 取締役(現任)

## 売上高



※2 2017年1月1日付でユニキャリアを完全子会社化したことに伴い、2017年3月期(第116期)1月~3月は、ニチュ三菱フォークリフトとユニキャリアを連結した数値を掲載しています。



「Perfect Integration 2020」の基本方針は「マルチブランドとグローバル戦略※3による成長」です。統合後最初の2年間は「融合フェーズ」と位置づけ、筋肉質な黒字化体質を構築してまいります。さらにその後の「成長フェーズ」では、ベストプラクティスの拡大とソリューションビジネスの強化によって一層の収益力向上を図るとともに、さらなる発展に向けた種まきも行っていく計画です。

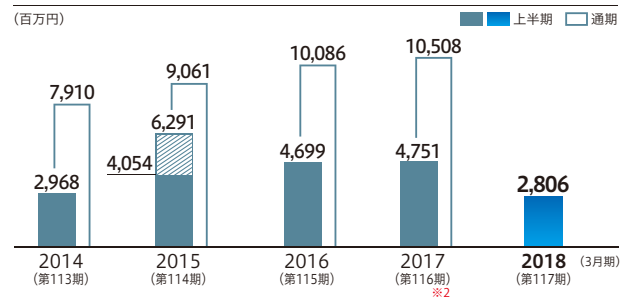
長期的には事業基盤を一層強化することで「営業利益率10%」を実現し、「世界トップクラスの総合物流機器メーカー」を目指してまいります。

※3 地球規模での展開を目指しながらも、地域独自の要求に合わせた製品やサービスを提供していくこと。

## 上半期の市況と業績の総括

**当** 上半期における世界経済は、成熟国を中心に景気の回復が続きました。米国では雇用環境の改善が続くとともに、個人消費や設備投資が増加し、景気は堅調に回復傾向を維持しました。中国をはじめとする新興国においても景気を持ち直しの動きが見られます。日本経済においても、世界経済の回復を受けて設備投資や輸出に持ち直しの動きが見られる他、雇用・所得

### 営業利益



■ 海外連結子会社の決算期変更に伴う増加分(1~3月)

※2 2017年1月1日付でユニキャリアを完全子会社化したことに伴い、2017年3月期(第116期)1月~3月は、ニチユ三菱フォークリフトとユニキャリアを連結した数値を掲載しています。

環境が引き続き改善し、緩やかな回復傾向が継続しております。

このような状況下、当社グループは国内事業においては、堅調な需要を背景にフォークリフトの販売台数が伸びました。また、海外事業においても米州、欧州、アジア、中国の全域で販売を伸ばすことができました。これらの結果、上半期の連結売上高は、ユニキャリア連結の寄与もあり、2,055億8千4百万円(前年同期比96.0%増加)の大幅増収となりました。

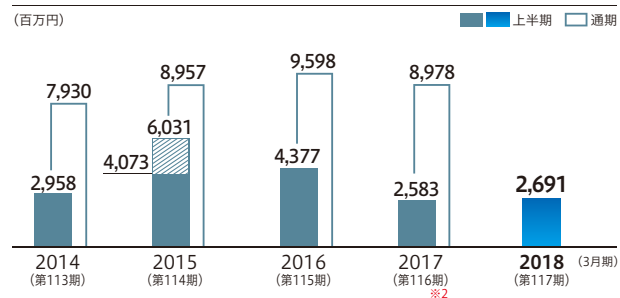
一方、利益面については、ユニキャリアの完全子会社化に伴うのれん償却等の影響があり、営業利益は28億6百万円(前年同期比40.9%減少)、経常利益は26億9千1百万円(前年同期比4.2%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4千2百万円(前年同期比42.0%減少)となりました。

なお、こののれん償却等の影響を除けば、営業利益は80億1千2百万円(前年同期比68.6%増加)、経常利益は78億9千7百万円(前年同期比82.1%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は51億6千3百万円(前年同期比105.2%増加)となります。

## 下半期の取組みと見通し

**当** 社グループは下半期も経営基盤と事業力の強化を図るとともに、統合シナジーの早期創出と刈り取りに

### 経常利益



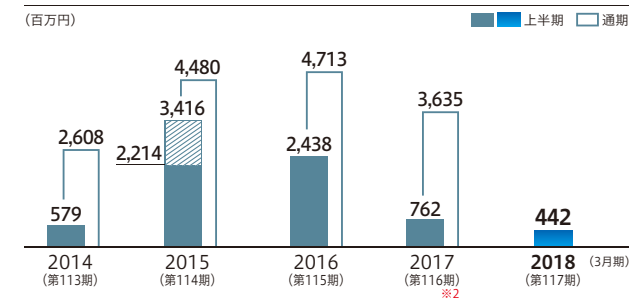
取り組んでまいります。通期の連結業績については売上高4,100億円(前期比51.3%増加)、営業利益90億円(前期比14.4%減少)、経常利益80億円(前期比10.9%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益35億円(前期比3.7%減少)を見込んでいます。

## 株主の皆様へ

**当** 社は、その期の収益状況に対応し、株主各位への配当の充実と企業基盤確立のための内部留保とのバランスに配慮した利益配分を行うことを基本としております。当期の株主配当につきましては、期末配当金1株当たり11円を予定しています。

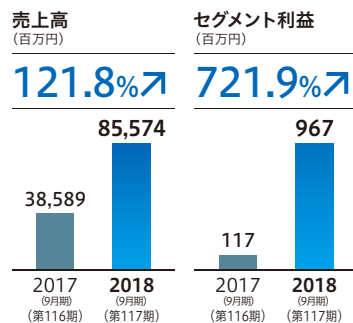
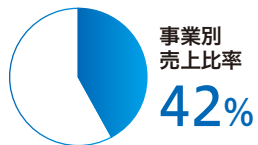
新体制のもと、それぞれに歴史を持つ、伝統ある4社(4本の矢)が束になることで、多様性を強みに融合し、しなやかで、強靱な企業にまいります。これからも、グループ一丸で技術・品質・コストを徹底的に追求し、「世界トップクラスの総合物流機器メーカー」を目指して邁進してまいります。株主の皆様には、引き続き当社グループへの温かいご理解、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

### 親会社株主に帰属する四半期純利益



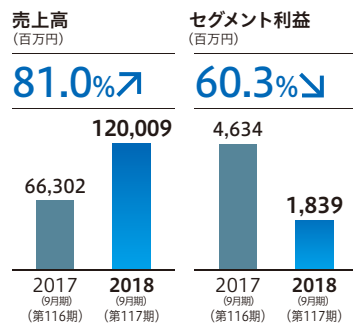
## 事業別業績概況

### 国内事業



国内事業は、堅調な需要を背景に、国内フォークリフト販売台数が伸長したこと及びユニキャリア連結の寄与により売上高は855億7千4百万円(前年同期比121.8%増加)となりました。セグメント利益につきましても、ユニキャリア連結が寄与したことにより、同社の完全子会社化に伴うのれん償却等の影響を除くと35億9千9百万円となりましたが、のれん償却等の負担(26億3千2百万円)により、9億6千7百万円(前年同期比721.9%増加)となりました。

### 海外事業



海外事業は、米州、欧州、アジア、中国の全域で販売を伸ばしたこと及びユニキャリア連結の寄与により、売上高は1,200億9百万円(前年同期比81.0%増加)となりました。セグメント利益につきましても、ユニキャリアの連結の寄与もありましたが、中国事業における売掛金の貸倒引当金繰入額の増加等により、同社の完全子会社化に伴うのれん償却等の影響を除くと44億1千3百万円となりました。加えてのれん償却等の負担(25億7千3百万円)の影響もあり、18億3千9百万円(前年同期比60.3%減少)となりました。

## トピックス

新体制に伴い2017年10月1日より、**企業サイトをリニューアルしました。**  
掲載情報を拡充し、**株主・投資家の皆様にもご利用いただきやすくなりました。**



企業サイト TOP  
<http://www.logisnext.com/>



株主・投資家情報  
<http://www.logisnext.com/investor/>



### 1 メインビジュアルコーナー

企業や製品に関する最新情報を、ビジュアル化してトップに掲載。



### 3 株主・投資家情報ページ

最新 IR 情報が探しやすくなりました。



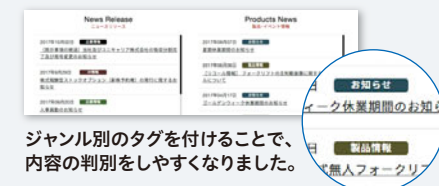
財務ハイライト  
グラフを使って、最新の業績を視覚化

IRライブラリ  
年度別の各種資料が検索可能

IRカレンダー  
決算発表や各種資料の発行時期など年間スケジュールを記載

### 2 ニュース一覧

News Release/Products News 別に掲載。知りたい情報に辿り着きやすくなりました。



ジャンル別のタグを付けることで、内容の判別をしやすくなりました。

### 4 製品情報

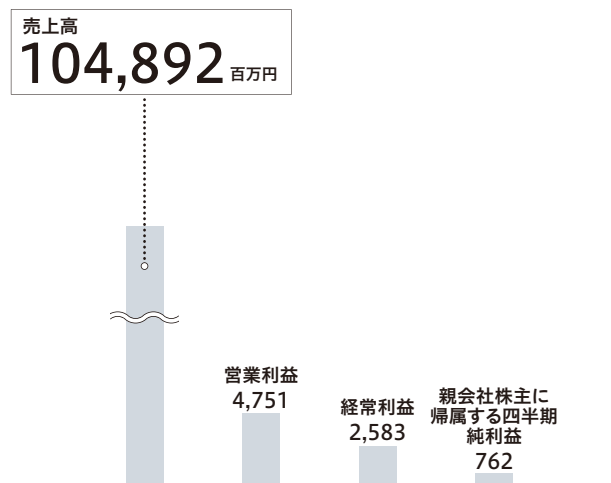
目的に応じて「製品カテゴリ別」「用途別」で製品情報の検索が可能になりました。



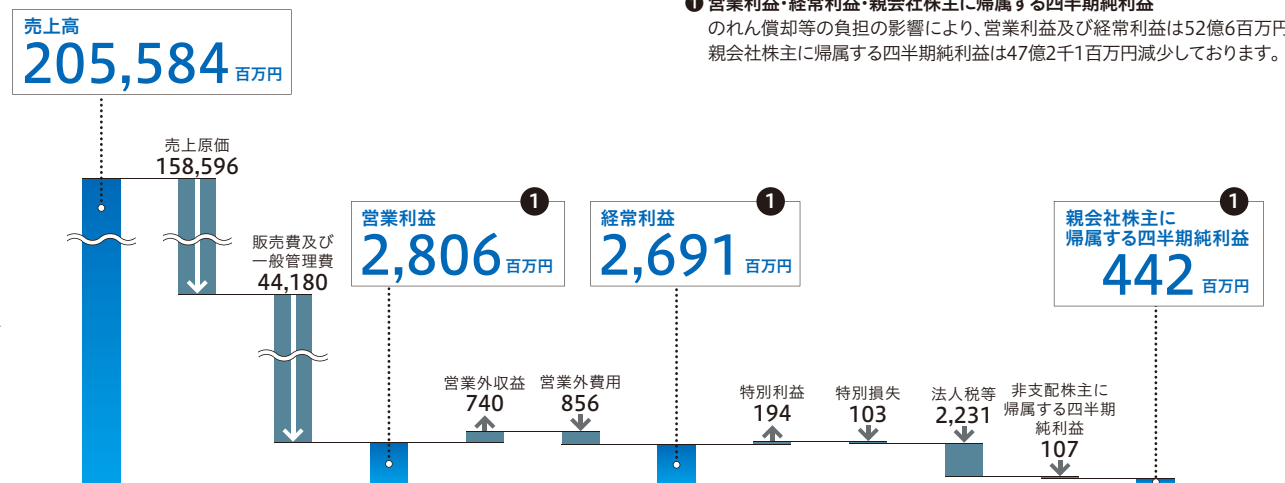
# 主要連結財務指標

## 連結損益計算書 (百万円)

前 第2四半期(累計) (2016年4月1日～2016年9月30日)



当 第2四半期(累計) (2017年4月1日～2017年9月30日)

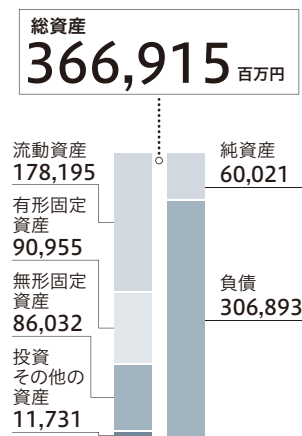


### POINT

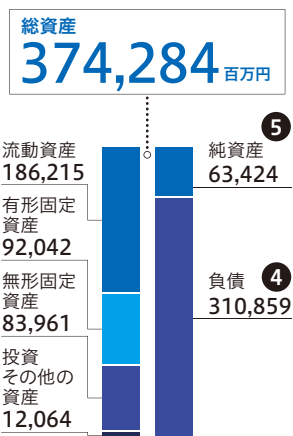
① 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益のれん償却等の負担の影響により、営業利益及び経常利益は52億6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は47億2千1百万円減少しております。

## 連結貸借対照表 (百万円)

前期末 (2017年3月31日)



当 第2四半期末 (2017年9月30日)

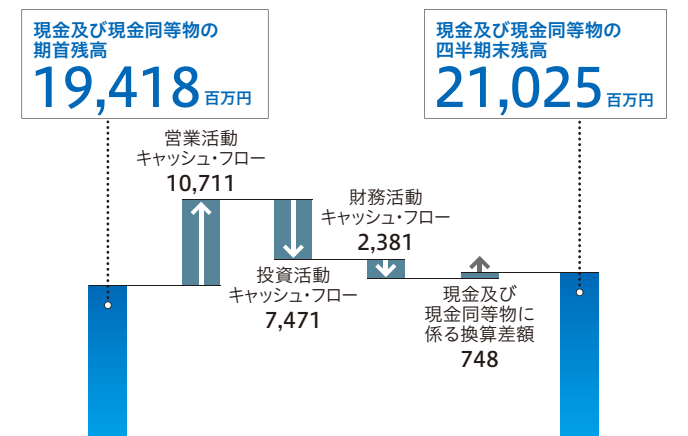


### POINT

- ② 流動資産  
受取手形及び売掛金の減少はありませんが、商品及び製品、仕掛品の増加等により80億2千万円増加しました。
  - ③ 固定資産  
有形固定資産の増加及びのれんの減少等により6億5千1百万円減少しました。
  - ④ 負債  
短期借入金の増加等が主な要因となり、前連結会計年度末より39億6千6百万円増加しました。
  - ⑤ 純資産  
為替換算調整勘定\*の増加等が主な要因となり、前連結会計年度末より33億2千7百万円増加しました。
- \* 海外子会社への投資額を円貨換算した場合の調整額

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

当 第2四半期(累計) (2017年4月1日～2017年9月30日)



# 会社情報

## 会社概要 (2017年10月1日現在)

社名	三菱ロジスネクスト株式会社 (Mitsubishi Logisnext Co., Ltd.)
創立年月日	昭和12年8月4日
資本金	4,890百万円
<b>事業所</b>	
本社・京都工場	〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1 TEL:075-951-7171 FAX:075-955-3797
滋賀工場	〒523-0013 滋賀県近江八幡市長光寺町578 TEL:0748-37-6700 FAX:0748-37-3259
安土工場	〒521-1334 滋賀県近江八幡市安土町西老蘇8-1 TEL:0748-46-5511 FAX:0748-46-6854
新川崎事業所	〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1-2 TEL:044-330-9000
オンサイト 研修センター	〒345-0023 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字本郷576 TEL:0480-37-2108 FAX:0480-33-8034

## 取締役及び監査役 (2017年10月1日現在)

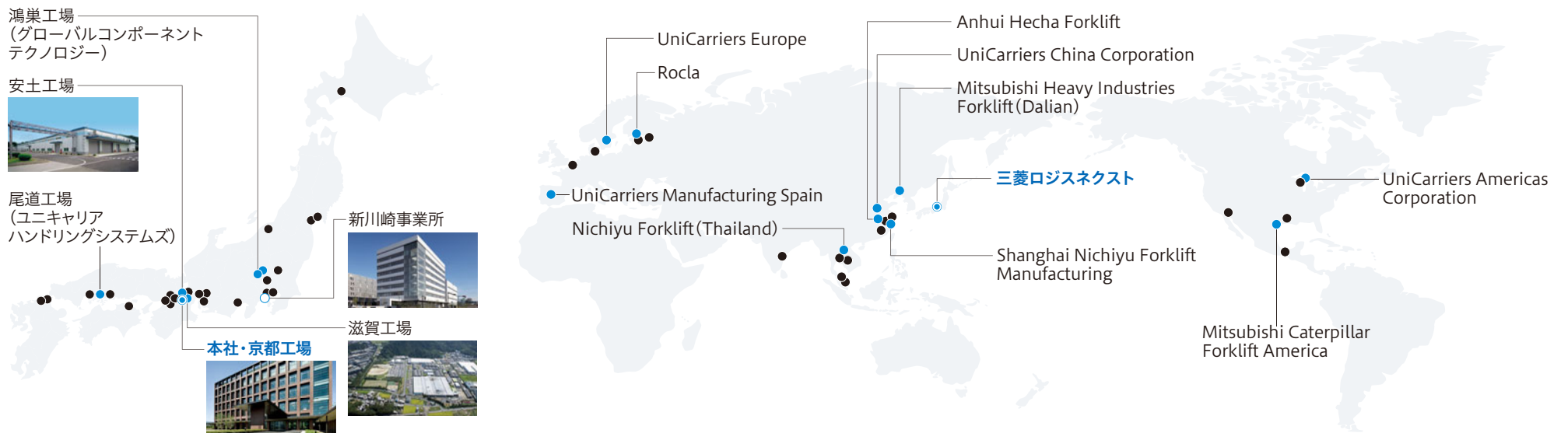
取締役会長	二ノ宮 秀明
代表取締役社長	御子神 隆
取締役	各務 眞規
取締役	藤田 伸二
取締役	山本 博章 (三菱重工業(株)グループ戦略推進室 戦略企画部長)
社外取締役	加藤 孝幸
社外取締役	大河内 健
常勤監査役	前嶋 弘
常勤監査役	小西 憲雄
社外監査役	倉垣 雅英 ((株)ジーエス・ユアサコーポレーション 取締役)
社外監査役	福岡 靖之 (大日本塗料(株) 常勤監査役)
社外監査役	斉藤 卓美

## 会長、社長及び役付執行役員 (2017年10月1日現在)

会長	二ノ宮 秀明
社長	御子神 隆
副社長執行役員	各務 眞規
常務執行役員	中村 真明
常務執行役員	新聞 洋之
上席執行役員	新家 雅隆
上席執行役員	間野 裕一
上席執行役員	大野 雅宏
上席執行役員	Ken Barina
上席執行役員	市原 信二
上席執行役員	渡邊 博一
上席執行役員	岩崎 孝宏
上席執行役員	玉光 正和
上席執行役員	小津 泰史
上席執行役員	藤田 伸二

## ネットワーク (2017年10月1日現在)

● 生産拠点 ● 主要販売拠点





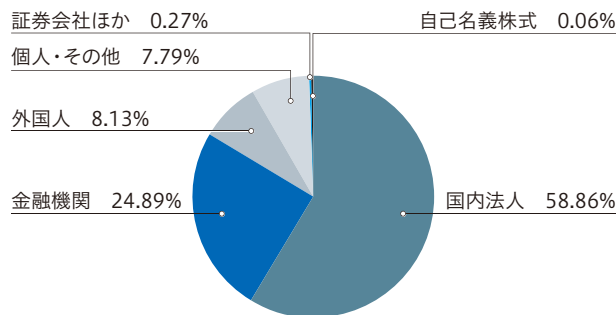
株式の状況

発行可能株式総数	普通株式	392,725,256株
	A種種類株式	32,274,744株
発行済株式総数	普通株式	76,611,269株
	A種種類株式	32,274,744株
株主数	普通株式	2,881名
	A種種類株式	2名

大株主(普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率
三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス株式会社	39,033	50.95%
株式会社GSユアサ	4,701	6.14%
日本スタートラスト信託銀行株式会社	3,689	4.82%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,361	4.39%
明治安田生命保険相互会社	2,765	3.61%
GOVERNMENT OF NORWAY	2,346	3.06%
東京海上日動火災保険株式会社	1,727	2.25%
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,363	1.78%
株式会社京都銀行	1,301	1.70%
株式会社滋賀銀行	941	1.23%

所有者別株式分布状況(普通株式)



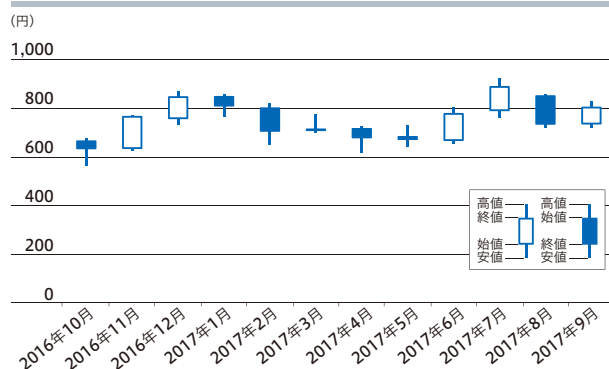
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7105/7105.html">http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7105/7105.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価の推移



ホームページのご案内

<http://www.logisnext.com/>

トップページ

「株主・投資家情報」をクリック

株主・投資家情報ページ

株主・投資家情報

最新トピックスをはじめ業績報告や会社情報などを詳しくご案内しております。

※ P4にて、新しいホームページを詳しくご紹介しています。

三菱ロジスネクスト株式会社

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2丁目1番1号  
TEL 075-951-7171  
FAX 075-955-3797

